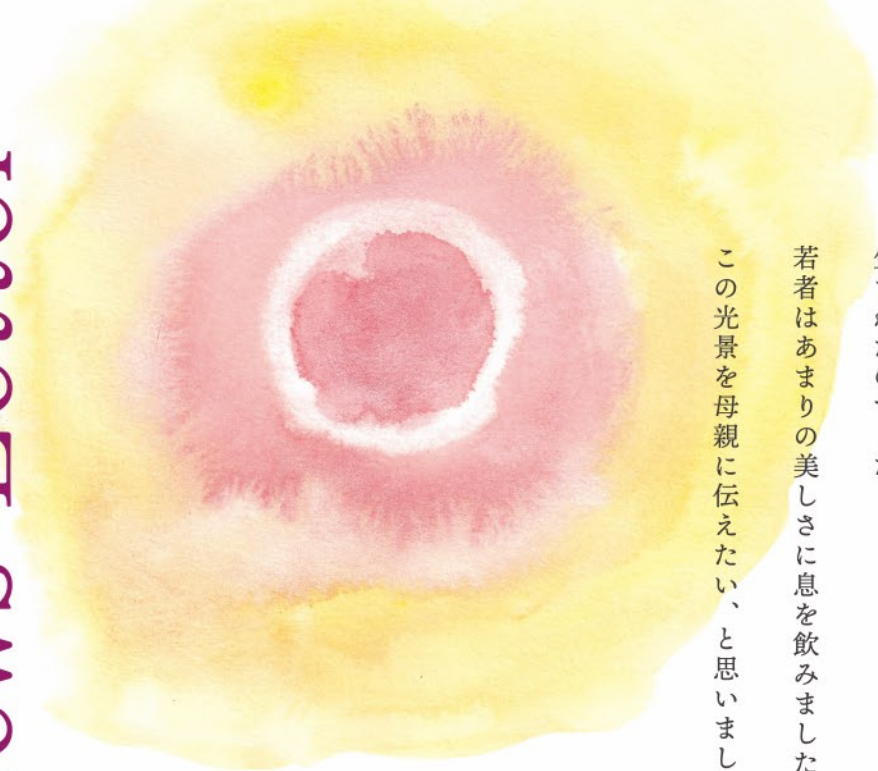


Aichi Steiner School News Letter

contents

- P1 文字の学び
P2 [Pickup Report 01]
— 彫塑
高等部の学び
P3 [Pickup Report 02]
— 学校協定会例会議
数字で見る愛知シュタイナー学園
P4 子育てTips
うちのおべんとう
2023年度入学式
公開イベントのご案内



— 若者がふと目を覚ますと、空は明るくなり始めていました。

そして、お日さまが遠くの空から顔を出すと同時に、何やら黒い影が見えました。それは、お日さまが沈むころ火山の火の中へ飛び込んでいった火の鳥なのでした。

お日さまがまた生まれると同時に、その鳥もまた、生まれたのでした。

若者はあまりの美しさに息を飲みました。そして、この光景を母親に伝えたい、と思いました。

子どもたちも教師も、

学びは感動とともに

これは、私のクラスで子どもたちが漢字を学ぶときにしたお話の一部です。このお話の絵を描き、絵の一部から線(金文)を浮かび上がらせて「日」という漢字を学びます。シュタイナー教育を受ける子どもたちは、物語とともに文字を学んでいきます。ひとつの文字を学ぶのにも、物語の中で心を動かしながら学ぶことで、ただ知識を身につけるだけではない学びとなっていきます。

私のクラスでは、1年生で漢字いくつかとひらがなをゆっくりと1日かけて1文字学び、2年生でカタカナを学びました。カタカナでは、担任の知り合いがたまたま持っていた(という設定で担任が作った)巻物が登場しました。子どもたちは「本物の巻物だ!」と目を輝かせていました。登場の場面でも、巻物をカーテン裏に仕込んでおいて「どこかにあると思うんだけど…」と言うと、子どもたちはやる気満々で探し出そうとします。こんなふうには、どうやったら子どもたちの心が動くかを考え、日々試行錯誤しながら授業の準備をしています。

そして、私のクラスでは文字の授業を始める前にこんな言葉を唱えます。

「ひとつのことばには ひとつのところがやどっている」

言葉は、感情があって、それを相手に伝えるところから始まったのではないかと思います。文字もまた、「誰かに気持ちを伝えたい」というスタートから子どもたちに学んでほしいと思い、感動した光景を母親に伝えるために文字が生まれたというストーリーにしています。

シュタイナー学校では、シュタイナーの教育観を軸としています。その中で、先人たちの知恵を借りたり、目の前の子どもたちの様子を見ながら、担任がそれぞれ考えて授業を生み出します。その際、自分自身が教える内容の核となる部分を掴んでいるかどうか、そしてそこで教師自身の心が動いているかどうか重要なポイントです。

シュタイナー学校でひらがなを教える際、「お話の中で身近なもの、例えば柿などの絵から[か]を浮かび上がらせる」やり方などがあります。こういった教授法も含めて私自身が文字について学んでいく中で、私はひらがなの線の流れの美しさに感動しました。漢字の線がだんだんと筆の流れによって繋がっていき、日本独自の流れるような曲線を持つひらがなが誕生したのです。ここに、日本の美があるように感じました。そこで私はひらがなを教えるとき、お話の絵からまずひらがなの元になる漢字「万葉がな」を浮かび上がらせ、そこから変化させてひらがなを学ぶ、というやり方を採用しました。子どもたちも、「この字から何のひらがなが出てくるんだろう?」「この字のここがつながったね」と毎回楽しんでいたように感じます。教師の学ぶ姿勢や感動する心が、子どもたちにも伝わっていると信じています。

2年生クラス担任 今泉夏奈



Pickup Report
01

5年生からの彫塑 ～土や木を通して自分を見つめる～

高等部教員 中山誠子

書道、弦楽器など学年が進むにつれて始まる新しい学び。ふわふわした羊毛やすべすべした絹の布に親しんできた子どもたちが、もっと硬いものにぶつかりたい、自分の力を「ガチで」試してみたい、そんな気持ちになる頃に始まるのが「彫塑」です。きれいな色で、温めるとやわらかくなる蜜蝋粘土とちがひ、鉛色で重くて容易にはかたちづれない粘土、硬くて四角四面の板や材木を相手に、有機的な曲線や面を、自分の力で創り出していきます。

授業では、前掛けをつけた大きな体の村上先生といっしょに道具を準備し、歌を歌って呼吸を整えてから、粘土や木に向かいます。硬さにひるみすぐに疲れてめげてしまう子、思い通りにできなくて嫌になっちゃう子、「先生、やって～」と頼ってくる子、どっしり構えた先生に励まされながら、それぞれのペースで彫り進めます。「こっちから見てごらん」先生のアドバイスで、立体をいろいろな角度から見てみます。

卵やお皿の曲面にはその子らしい彫り跡が残り、自分でデザインした燭台のフォルムには、「こういうかたちをつくりたい」という意志が現れています。粘土で原型を作るときには付け足したり、削ぎ落としたりが自由にできますが、木はやり直しができません。勇気と根気を持って、刃物をふるいます。

高等部になって、動物の像や12弦のライアーをつくり終えるときには、それらに取り組んできた自分の心の軌跡を振り返り、これで仕上がり、これが自分の作品、と結果をひきうけます。悔いや不満もひっくるめて…

さらに鉄や銅を打つ、精巧な木工に取り組む、人間の手にどれほどのことができるのか、子どもたちの挑戦は卒業するまで続きます。



愛知シュタイナー学園 彫塑専科教員

村上 智 先生

1963年名古屋市生まれ。やまさと保育園に勤務し、シュタイナー教育と出会う。1999年～2002年までスイス・ドルナッハの彫刻学校で学ぶ。愛知シュタイナー学園は2007年の設立時から関わる。2022年3月までクラス担任。2022年4月より彫塑専科教員。



＼ 9年生～12年生の学びを写真で紹介 ＼

高等部の学び

シュタイナー学校の高等部は、9年生(中学3年生)から12年生(高校3年生)までの4年間です。1～8年生では十分に体や心を育み、ここから本格的に頭、つまり思考力を鍛えていく時期に入ります。座学はもちろん、様々な実習がカリキュラムに含まれており、手や足を使う体験を通して考えたことを言語化し、逆に考えたことを実際に手足を使って正確に形にすることでその能力を育みます。また、自分が社会の中でどう生きていくかを、いずれ自分で決められるように、自分自身で判断する機会を徐々に増やしていきます。

1. キャンプ(9年生): ドラム缶風呂を沸かして入りました。
2. 測量実習(10年生): 学園や近くの市民会館で正確に測量できるよう実践します。
3. 数学(10年生): 数列の学び。紙を折って折って…月まで届け。
4. 鍛金(10年生): 銅を打って鍋を作ります。
5. 性教育(11年生): 胎児の人形を愛おしそうに抱く生徒。





全国のシュタイナー学校が愛知に集いました

1・4年生 保護者

この春、全国各地の学校から教員や保護者の代表が集う学校協会定例会議が、愛知で開かれました。

愛知シュタイナー学園は日本シュタイナー学校協会発足時からの正会員校です。

2023年4月現在、各地のシュタイナー学校にて1,120名(昨年度比+49名)の児童生徒が学んでいます。

会議では、各校の取り組みの報告、課題の共有、より良き方向へ歩むための意見交換がなされました。全国の仲間との交流は、互いの自律性を尊重しながらも、支え合い、共に高め合っていくとする学校協会のあたたかいつながりに改めて心強さを感じるひとときとなりました。



日本シュタイナー学校協会 正会員校 (全7校)



世界のシュタイナー学校

世界に60ヶ国以上、1,200校を超えて広がっています。

・ドイツ：254校	・イタリア：36校
・アメリカ：123校	・スイス：32校
・オランダ：120校	・韓国：15校
・オーストラリア：60校	・中国：7校
・スウェーデン：44校	・インド：7校
・ハンガリー：45校	・フィリピン：4校
・ブラジル：36校	・台湾：3校
・ノルウェー：34校	・日本：7校
・イギリス：25校	

他 欧州、南米、中東、オセアニア、アジア等各国

2021年5月現在 1,251校



数字でみる愛知シュタイナー学園

DATA 01 2023年度4月現在の生徒数と男女比



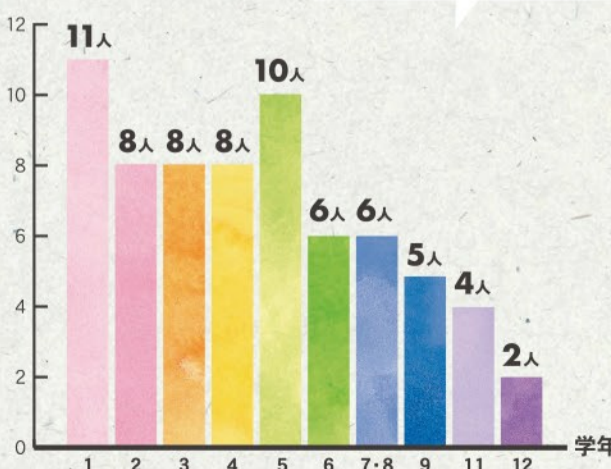
DATA 02 2023年度 新入家庭数・転入家庭数



DATA 03 在校家庭の居住エリア



DATA 04 学年別生徒数



現在、愛知シュタイナー学園には52家庭、全68名の生徒が通っています。

子育て

Tips

工藤 千秋先生



2009年から10年間韓国のシュタイナー学校で日本語教師を務める。2020年より当学園職員。歯科衛生士。子どもの健康管理全般を担当する。小中等部の韓国語、運動などの授業を受け持つ。幼少期からバレエを始めいろいろな分野の舞踊、ダンスに関わっている。

【連載】幼児期の体づくり ③ 食事

皆さんは毎日、決まった時間に楽しく食事ができていますか？体づくりで大切なことは、何よりも規則正しい習慣（リズム）です。できるだけ決まった時間、できるだけ家族全員で、慌てずゆっくりと食べるようにすること。子どもの頃の食事の体験は、大人になっても影響を残します。バランスの取れた食生活の習慣を身につけさせるために、大人がしっかりと食事と向き合い、食べることが大切です。そうすることで自然に空腹と満腹のリズムが生まれ、お腹（胃腸）にもストレスがかかりません。誰かのために、無理している作るごはんより、皆でおいしく食べる適量なごはんが、家族の栄養になります。食材は、なるべく地元で採れた旬の有機栽培のものを選び、自然とのつながりを大切に、素材のうま味を活かした料理ができるといいですね。

幼児期は身体が最も発育する時期のため、栄養バランスの良い食事が必要不可欠です。子どもの体質や体調、生まれ持った体力、性格などにより栄養ニーズが異なるため、その子にあった食材を使いながら、おいしく、そして楽しく食事をしましょう。

食事は体だけでなく、心にも栄養を与えます。家庭での食事は、『食べる』という基本的な行為を食卓で共有するものです。親も子ども、食へのこだわりのあまり、体の栄養だけにとらわれて、そのことがストレスになっては意味がありません。各家庭で無理のない範囲で作り、おいしく食べ、楽しい時間を過ごしてこそ、心と身体の栄養バランスが取れるのではないのでしょうか。中高生くらいになると、国内外の宿泊研修等で外に出ることも増えていきます。その時に、家庭での健康へのこだわりのために外での食事が難しくなれば、結局、子どもが苦労してしまいます。食べるものが限られてくる・食べられない・慣れるまで時間がかかる・体調不良になる（便秘・胃炎・貧血 etc.）。身体の基礎は幼少期からの積み重ねで作られていくため、子どもの成長とともに時期を見て、徐々にバラエティー豊かな食事を考え取り入れていけたらいいですね。そうすることで、改めて日本の料理・郷土料理の素晴らしさに気づき、家庭料理のありがたさに感謝できると思います。



うちはおうち 教えて 日々のお弁当

うちのおべんとう



「時短でおいしいお弁当のおかず」

私がこの学園を選んだ理由のひとつが「昼食がお弁当であること」でした。なので「ありがたい!」と思いながら作ってきました。とはいえ働いているため、朝はとても忙しく、時短でお弁当を作れるよう工夫しています。そのひとつがオープン調理。材料を切って、調味料をふって、あとはオープンにおまかせのおかずを作っています。シートを引けば、後片付けも楽々! 簡単でおいしく、娘にも好評です。オープンに入れたあとは、その間に違うおかずを作ったり、洗濯物を干したり、違う家事もできちゃいます。



●フライドポテト風
じゃがいもをくし形切りにして、塩コショウして油をふる。200℃で10~20分焼く

●ささみのフライ風
ささみにフライの衣をつけ、200℃で20分焼く(小麦粉とパン粉をビニール袋の中でつける)と簡単

●鮭の塩焼き
塩鮭に片栗粉をふって200℃で20分焼く

●砂肝グリル
食べやすい大きさに切り、塩コショウして、200℃で20分焼く

●焼き芋
さつまいもをクッキングシートに包んで、200℃で20分前後焼く。厚み3cm以下はそのまま。3cm以上は半分カットする

●カボチャのチーズグリル
カボチャの薄切りにとろけるチーズをふって、200℃で10分焼く



※食材を入れる前にオープンを温めなくても大丈夫。ただし、機械により焼き具合は変わりますので、温度や時間等は参考までに。お手持ちのオープンに合わせて調整してください。

[11年生保護者]



この春11人の新一年生をお迎えしました



お誕生日会の日に夫婦で授業に参加した際に、教師と子どもたちの信頼関係や子どもたちの素直さと明るさ、純粋さに感動しました。

1年生保護者

文字や数字を覚えることなく入学した我が子ですが、初めての学びが楽しく目を輝かせて報告してくれます。手遊びやリズムで始まる朝の時間やおやつがあることで、一日をとおして幼い体や心に無理をさせることなく健やかに過ごしています。

1年生保護者

息子は、学園での生活をとおしてのびのびと自己表現できるようになりました。高学年の生徒たちの姿を見ると、わが子の将来が楽しみになります。

2年生保護者

2023年度

公開イベントのご案内

どなたでもお気軽にご参加ください

予約不要 在校保護者・教員とお話ししよう 夏の茶話会&見学会

2023年 8月26日(土)

茶話会と同時に、教室や児童生徒のノート・作品の展示をご覧いただけます。どちらも入退場自由・無料です。お気軽にご参加ください。(託児:1,000円/人)



詳細・お申込み・お問い合わせは愛知シュタイナー学園公式 Webサイトをご覧ください。

要予約 入学・転入をお考えの方必須 第2回 学園説明会

2023年 9月16日(土)

入学・転入をご希望のご家庭に説明会を開催します。本学園について広く知っていただくため、シュタイナー教育に興味をお持ちの方や年中さん以下のご家庭もご参加いただけます。



Webサイト・SNSで最新情報をご確認ください

隣接したQRコードを紙などで隠して読み取ってください。



公式 Webサイト



オフィシャル ブログ



Instagram



facebook



公式 LINE

ニュースレターについて

愛知県で唯一の全日制シュタイナー学校「愛知シュタイナー学園」による発行です。教員と保護者の協力のもと、執筆からデザインまでおこなっています。子どもたちの学びと教員のまなざし、保護者の想いを四季折々に綴ります。

認定NPO法人 愛知シュタイナー学園 初・中・高等部 〒470-0115 日進市折戸町笠寺山42-13 Tel&Fax:0561-76-3713 HP: http://aichi-steiner.org E-Mail: aichisteinerschool@nifty.com

アクセス

